



# たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2015



## 狭心症、心筋梗塞とは

循環器内科 部長 水野 幸一

**【病気のなりたち】**心臓は心筋という筋肉組織で形成されており、全身に血液を送り出すポンプ機能を持っています。そして心筋は冠動脈という血管から酸素や栄養分が供給されて正常に収縮することが出来ます。この冠動脈の血流が低下して心筋虚血（血流不足）に陥った病態を虚血性心疾患と呼び、この代表が狭心症と心筋梗塞です。

**【特徴】**階段歩行後などに胸部が締め付けられるような症状があり安静にて改善するのが労作性狭心症で、多くは冠動脈の動脈硬化による高度な狭窄を認めます。そして冠動脈内のプラークが破裂して血栓で冠動脈が完全閉塞すると心筋への血流が途絶して組織壊死を生じます。これが急性心筋梗塞であり、放置されれば心臓破裂や重篤な不整脈で生命を脅かすことがあります。

**【診断】**狭心症では胸部症状がないときの心電図では異常が認められないことがあり、運動負荷心電図や24時間心電図で発作時の心電図変化を調べます。自覚症状や心電図変化で狭心症が疑わしければ、外来での冠動脈CTか、検査入院して冠動脈造影（心臓カテーテル検査）を行って冠動脈硬化の重症度を確認します。心臓超音波検査で心臓のポンプ機能などを把握して治療につなげることもあります。また高血圧、糖尿病、脂質異常などの動脈硬化危険因子のチェックも行います。

**【治療】**冠動脈造影検査結果から最終的に薬物治療、冠動脈カテーテル治療、冠動脈バイパス術の中でどの治療法が最も適しているかを判断します。冠動脈カテーテル治療は風船治療とかステント治療と呼ばれていますが当院では年間200人前後の方が受けています。急性心筋梗塞で緊急でこの治療を受けられる方もいます。ただし冠動脈バイパス手術は心臓血管外科が常年在していないため当院では行えません。患者様のご希望に則って大学病院などにご紹介いたします。

**【終わりに】**かつて欧米人に多かったこの病気は近年日本人でも増加しています。食事や運動などの生活習慣の改善、動脈硬化危険因子の管理をかかりつけのお医者さんと連携しながら取り組んで再発を予防していきます。



## 部門紹介

# 循環器内科

循環器内科では、心臓・血管疾患の診断および治療を行います。特に急性心筋梗塞・重症不整脈・心不全増悪のような生命に関わる重篤な病態は迅速な診断と早期治療によって劇的な改善がもたらされます。当院では、こうした疾患に対して熟達した循環器内科医およびスタッフが24時間管理しております。

一方、循環器内科外来では、採血尿検査、生理学検査（心電図、運動負荷心電図、24時間心電図など）、画像検査（一般撮影、超音波、CT、MR）を併用して虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、末梢動脈疾患などの診断や評価を行います。結果によってご入院いただき、心臓カテーテル検査・電気生理学的検査（1～3日）、冠動脈インターベンション・末梢動脈インターベンション（2～5日）、カテーテル心筋焼灼術（3～5日）、ペースメーカー植込み術（5日～10日）を受けていただく場合があります。さらに一人一人の心臓機能を評価しつつ心臓リハビリテーションを行ってQuality of Lifeの向上を目指しております。ご不明なことがありましたらいつでもスタッフにお尋ね下さい。

## ドトールコーヒーショップからのご案内

ドトールコーヒーショップを運営させて頂くにあたり、スローガンとして、“がんばる人のがんばらない時間”を掲げて運営させていただいております。

業務でご多忙の職員様、なかなか外出が難しい入院されていらっしゃるお客様、通院でお疲れの外来のお客様。一杯のコーヒーを通じて、安らぎと活力を提供できるよう、スタッフ一同業務に励んでおります。

当店では職員様の会議などに便利な、大口注文・お届けサービスや、職員様限定となりますが、内線での事前注文等も行っております。

季節に合った飲み物や軽食も取り揃えておりますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

**営業時間** 平日・第2・4・5土曜 8:30～18:00  
第1・3土曜・日・祝日 12:00～16:00

